

# 高速道路の保全情報をスマホから共有

ネクスコ東日本エンジニアリングは、2012年6月より、Androidスマートフォンを利用して高速道路の損傷具合など現場状況の画像や位置情報を統合して伝達・共有するシステムを導入した。

以前は専用の携帯電話端末による報告システムの活用を検討したが、通話ができない、操作が煩雑で迅速な対応が困難、費用が高額などの課題があった。

そこで新たに、スマートフォンに専用アプリをインストールし、データセンターに報告データを蓄積する仕組みを採用した。報告を受ける事務所側は、Webアプリケーションを使ってPCから情報を閲覧する。

汎用的なスマートフォンであれば、費用を抑えることができ、1台で通話も報告作業も行える。ユーザーインターフェースにも工夫を凝らした。

業種	建設コンサルタント
活用分野	高速道路の管理、安全確保
テクノロジー	位置情報、スマートフォンアプリ、Android
端末	スマートフォン 



高速道路の現地状況を報告する画面